KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 08 -

コピー／スキャン／機械管理

Ver. 01.03

目次

1 コピー

2 スキャン

3 機械管理

4 付録

コピー、スキャンできる機種は以下になります。

- C14010シリーズ（スキャナ付きペーパーフィーダーユニットが必要）
- C5080シリーズ
- C8100シリーズ（スキャナ付きペーパーフィーダーユニットが必要）

一部の動画にはカラー機の要素たとえば画面などが含まれていますが、操作手順に違いはありません。



1 コピー

1-1. 本機のコピー機能

本機で使用できるコピー機能について紹介します。



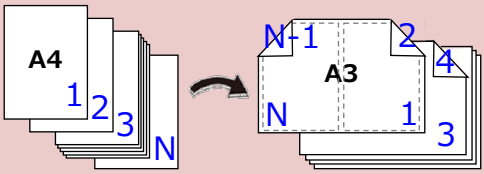
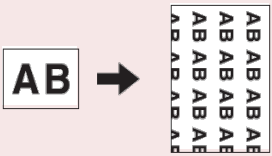


番号		説明
①	**[原稿設定]**	原稿のセット方向や画質、異なるサイズが混ざった原稿などを設定します。
②	**[画質調整]**	読込み濃度や色合い、明るさ、コントラストなどを設定します。
③	**[倍率設定]**	コピーの倍率を設定します。
④	**[片面/両面]**	原稿とコピーの片面、両面の組合わせを選択します。
⑤	**[応用設定]**	仕上がりを小冊子にしたり、原稿の外側を消したり、スタンプを付加したりなどの各種設定ができます。
⑥	**[出力設定]**	出力先や後処理の機能を設定します。パンチや折りなどの仕上りを設定できます。
⑦	**[カラー]**	カラーモードを設定します。カラーやグレースケール、モノクロでコピーします。
⑧	**[保存設定]**	コピーした原稿をデータとして本機に保存するよう設定します。
⑨	**[用紙]**	コピーに使用する給紙トレイを選択します。

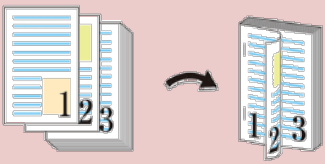
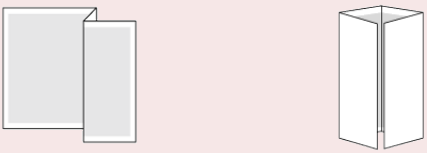
1 コピー

本機のコピー機能の例を紹介します。

08-011 コピー設定手順

機能	説明
［小冊子］	ページ順序を変え、用紙サイズを変更させ、 全体を2つ折りすることで、週刊誌のような製本仕立てになります。 
［リピート］	読み取った原稿を、用紙に繰り返してコピーします。 

対応オプションがある場合は、以下の仕上がりを選択することが可能です。

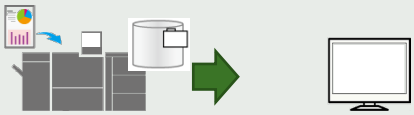
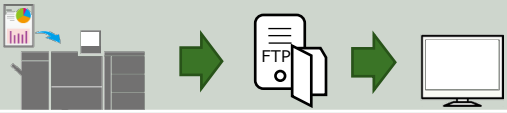
機能	説明
［ステープル］	コピー後、ステープル（ホチキス）で閉じます。 
［折り］	コピー後、目的や用途に合わせてさまざまな形に折ります。 [Z折り]　[観音折り] 

2 スキャン

2-1. 本機のスキャン機能

本機で使用できるスキャン機能について紹介します。

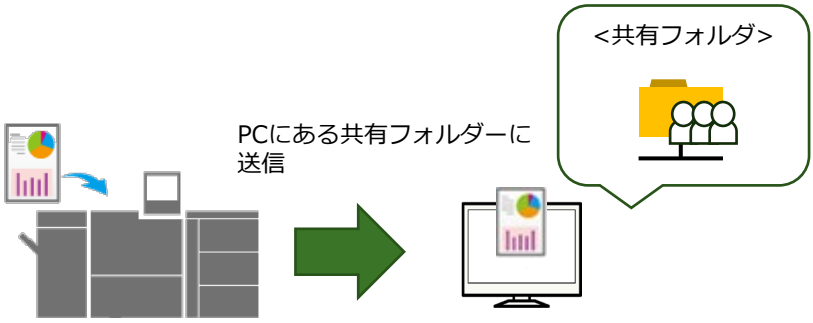
KM製コントローラー⇒ KM　　**Fieryコントローラー⇒** Fiery

機能名		説明
[E-mail]	KM Fiery	指定したメールアドレス宛に、添付ファイルとしてスキャンしたデータを送信します。 
[HDD]	KM Fiery	本機のHDD のボックス（フォルダー）にデータを保存します。 
[FTP]	KM Fiery	ネットワーク上に構築されているFTPサーバーにデータを保存します。 
[SMB]	KM Fiery	PCで作成した「共有フォルダー」にスキャンしたデータを送信します。 
[WebDAV]	KM ~~Fiery~~	ネットワーク上に構築されているHTTPサーバーにデータを保存します。 
[Queue]	~~KM~~ Fiery	Fiery Server内の待機キュー(Held Queue)に、スキャンしたデータを送信します。 
[USBﾒﾓﾘｰ]	KM ~~Fiery~~	本機に接続したUSBメモリーにスキャンしたデータを保存します。 

2 スキャン

2-2. スキャン機能の便利な使い方（Scan to SMB）

Scan to SMB は、本機で読込んだ原稿データを、コンピューターで扱えるファイルに変換してから、コンピューターやサーバーの共有フォルダーに送信する機能です。ほかの機能に比べ、気軽に容量サイズを気にせず送信することができます。



手順

08-032 Scan to SMB 設定手順

Step 1：送信先のコンピューターを準備する

次の作業を行います。

① 送信先のコンピューター名とアクセスできるユーザー名を確認します。

② 送信先の共有フォルダーを作成して、共有設定を行います。



Step 2：本機をネットワークに接続する

本機をネットワークに接続するには、次の確認を行います。

- LAN ケーブルの接続を確認します。
- 本機にIP アドレスが設定されているかを確認します。



Step 3：共有フォルダーを登録する

本機に共有フォルダーを登録します。

Step 4：スキャンデータを共有フォルダーに送信する

スキャンデータを共有フォルダーに送信します。

3 機械管理

3-1. はじめに

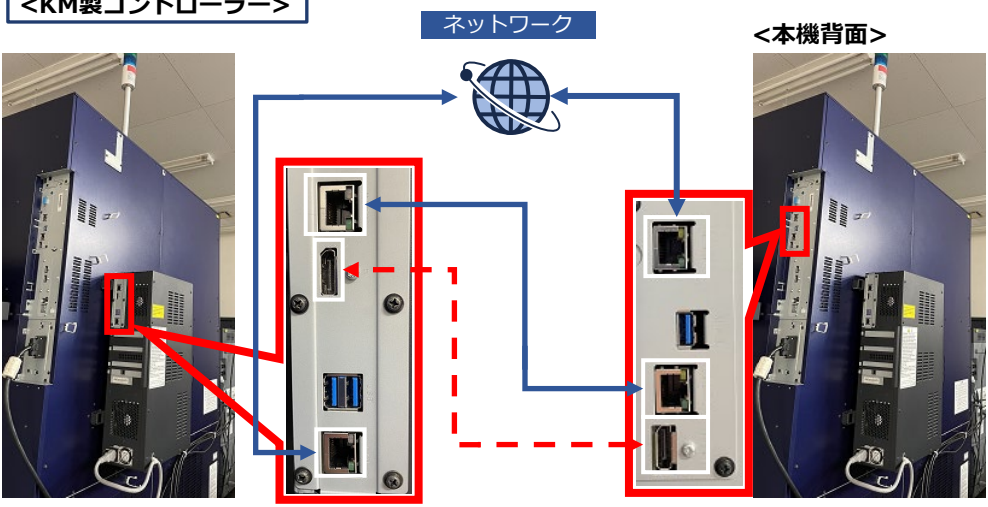
ここでは、印刷に必要なネットワーク、セキュリティーについて紹介します。

3-2. 本機、コントローラーで接続しているケーブル

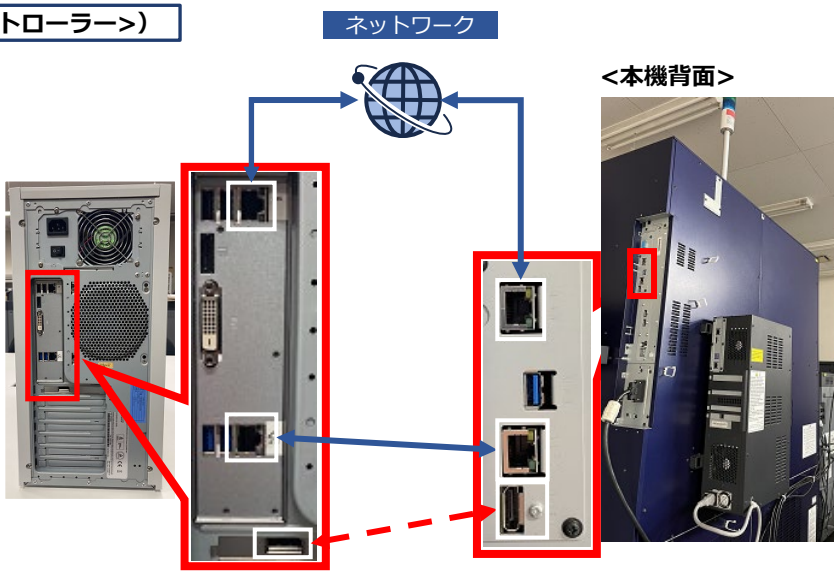
ここでは、本機と各コントローラーで繋がっている
ケーブルを紹介します。

LAN　Display Port

<KM製コントローラー>



<Fieryコントローラー>)



3 機械管理

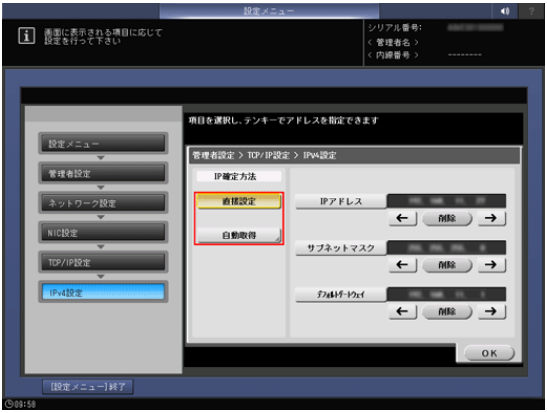
3-3. IPアドレス

IPアドレスは操作パネルから設定します。

08-040 IPアドレス設定手順

<本体>

［設定メニュー/カウンター］-［管理者設定］-［ネットワーク設定］-［TCP/IP設定］



<KM製コントローラー>

［設定メニュー/カウンター］-
［管理者設定］-［コントローラー設定］-
［TCP/IP設定］



<Fieryコントローラー>

［機械状態］-［コントローラー設定］-
左下メニュー-［ツール］-［設定］



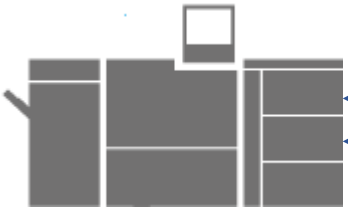
<注意>
Fieryコントローラーの設定を変更すると、システムのリブートを要求する画面が表示されます。全ての設定を終えた後にリブートを実施してください。

3 機械管理

3-4. デバイス管理機能

デバイス管理機能は、以下のツールがあります。

Web Connection（本体/KM製コントローラー）





本体用
- 本機のステータス確認
- 本機のネットワーク設定

KM製コントローラー用

KM製コントローラーの
- ネットワーク
- セキュリティー
- プリンター設定が可能

本体



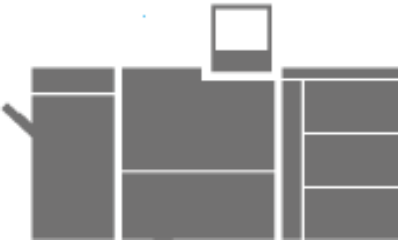
コントローラー



08-050 Webブラウザーアクセス手順

Web Utilities（本体）



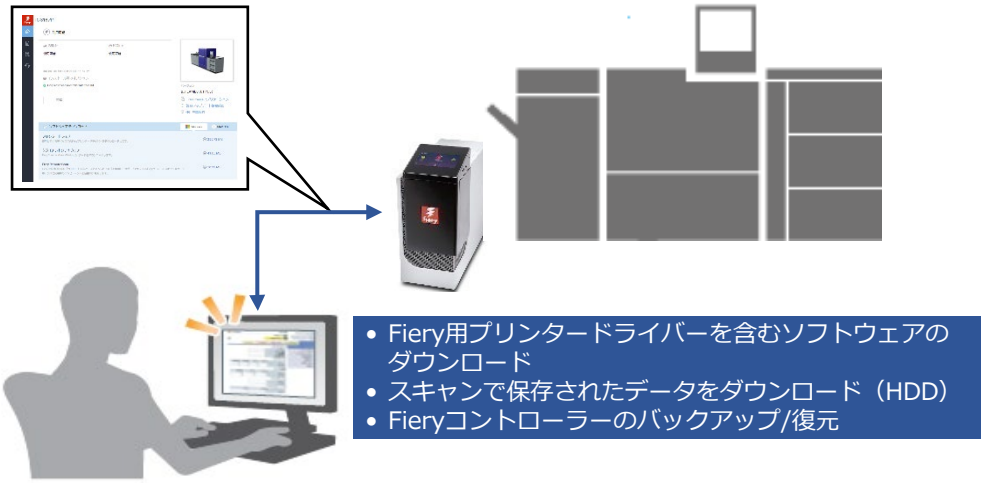




- PCから本機のリモート操作
- 設定データのインポート/エクスポート
- ジョブ履歴一覧

3 機械管理

WebTools （Fieryコントローラー）



- Fiery用プリンタードライバーを含むソフトウェアのダウンロード
- スキャンで保存されたデータをダウンロード（HDD）
- Fieryコントローラーのバックアップ/復元

Fiery Command WorkStation （Fieryコントローラー）



- PCから本機の状態を確認
- ジョブを管理
- ジョブのインポート/エクスポートが可能

3 機械管理

3-5. ユーザー設定

ユーザー設定における、いくつかの機能を紹介します。



［設定メニュー/カウンター］-［ユーザー設定］

	説明
［パワーセーブ機能設定］	設定時間が経つと、自動的にローパワーモードにしたり、ローパワーモードからプリントジョブを送ると即座にプリント準備に入るオートウェイクアップモードがあります。
［ショートカットキー登録］	画質調整、応用設定などのショートカットキーを登録します。
［用紙プロファイル設定］	よく使う用紙を用紙プロファイルとして登録が出来ます。

3-6. 管理者設定

管理者設定における、いくつかの機能を紹介します。



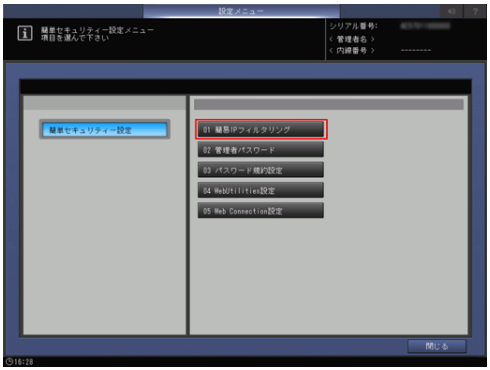
［設定メニュー/カウンター］-［管理者設定］

	説明
［ユーザー認証/部門管理］	使用者を制限するため、ユーザーや部門の認証機能を設定します。
［システム連携］	OpenAPIを介した通信や使用するブラウザーのサイズなどを設定します。
［セキュリティー設定］	簡単セキュリティー設定より強固な設定ができます。

3 機械管理

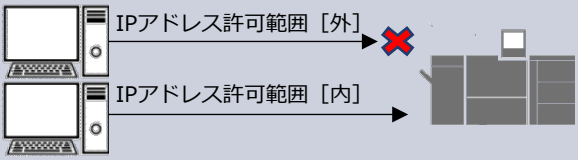
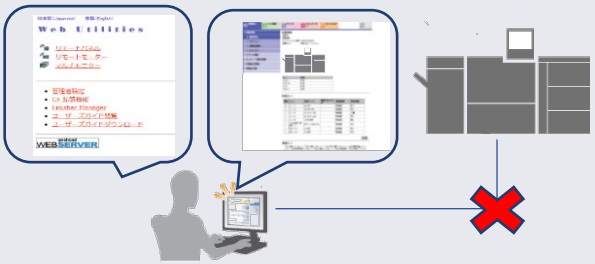
3-7. 簡単セキュリティー設定

手軽にセキュリティーの設定ができる、簡単セキュリティー設定について紹介します。



08-060 簡単セキュリティー設定手順

［設定メニュー/カウンター］-
［簡単セキュリティー設定］

	説明
［簡易IPフィルタリング］	IPアドレスの許可範囲を設定することで、悪意のある第3者からのネットワークアクセスを防止します。
［管理者パスワード］	本機の管理者を識別認証させるため、初めて本機をONにしたときにデフォルトからパスワードを変更する画面が表示されます。
［パスワード規約設定］	パスワードの文字数を長く設定することで、外部からの不正アクセスを防ぎます。
［Web Utilities設定］ **［Web Connection設定］**	さまざまな設定が可能な、Web Utilities、Web Connectionへの攻撃を防ぐために、ポートを閉じます。

両面同時原稿送り装置（ADF）仕様

原稿種類/坪量		片面原稿：35 ~ 210 g/m² / 10 ~ 56 lb Bond 両面原稿：50 ~ 210 g/m² / 13 ~ 56 lb Bond 混載原稿（片面）：35 ~ 210 g/m² / 10 ~ 56 lb Bond 混載原稿（両面）：50 ~ 210 g/m² / 13 ~ 56 lb Bond *:35 ~ 49 g/m² の原稿を使用するときは ［原稿設定］-［厚さ］で［薄紙］を選択してください。	
原稿サイズ		定形	最小：郵政はがき 最大：A3
		不定形	タテ：100mm ~ 297mm / 3.94" ~ 11.69" ヨコ：139.7mm ~ 431.8mm / 5.5" ~ 17"
原稿積載量		最大300枚（80g/m²）	
原稿読取り速度	**コピー時**	■ 片面 75 面／分（A4 / 8.5" x 11"、600 dpi、フルカラー） 80 面／分（A4 / 8.5" x 11"、600 dpi、モノクロ） ■ 両面 150 面／分（A4 / 8.5" x 11"、600 dpi、フルカラー） 160 面／分（A4 / 8.5" x 11"、600 dpi、モノクロ）	
	スキャン時	■ 片面 100 面／分（A4 / 8.5" x 11"、400 dpi、フルカラー/モノクロ） ■ 両面 200 面／分（A4 / 8.5" x 11"、 400 dpi、フルカラー/モノクロ）	

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.